

第2回 関西国際空港及び神戸空港の飛行経路に係る地域協議会 結果概要

■日時：令和7年8月22日（金）15時30分から16時30分まで

■場所：淡路夢舞台国際会議場 レセプションホールB

■会議の内容：

- 関西エアポート(株)から、関西国際空港・神戸空港の運営概況を説明
- 関西エアポート(株)から新飛行経路導入後の航空機騒音等について説明、意見交換
- 次回以降の協議会について、少なくとも年1回は開催することを基本に、共有すべき課題等が生じた場合は速やかに開催することで合意

（出席者の主な意見）

- ・ 市民に説明してきた飛行経路だけでなく、島上空を広範囲で飛行しているが、飛行高度に配慮した個別の運用努力による結果と認識。
- ・ 運用努力により騒音値が下がっていることは事実だが、「経路が合っているのか」という住民の意見もあり、不安を抱いている方もいらっしゃる。
- ・ 3月から運用が始まったばかりだが、初動対応が大切だと思っているので、住民への丁寧な対応、説明に努めていただきたい。
- ・ 引き続き、作業部会の場を活用し、飛行状況や騒音状況等について理解を深め、協議会の構成員で共有していく。
- ・ 兵庫県や関西エアポート等が、国とも連携しながら、住民に分かりやすく情報提供する方法や定期測定地点の見直し等についても、淡路島3市長のご意見を踏まえ検討していく。
- ・ 大阪・関西万博で多くのインバウンド旅客が大阪に来ている。この方々を、淡路島を含め西へと誘客する流れを作ることが今後の課題。